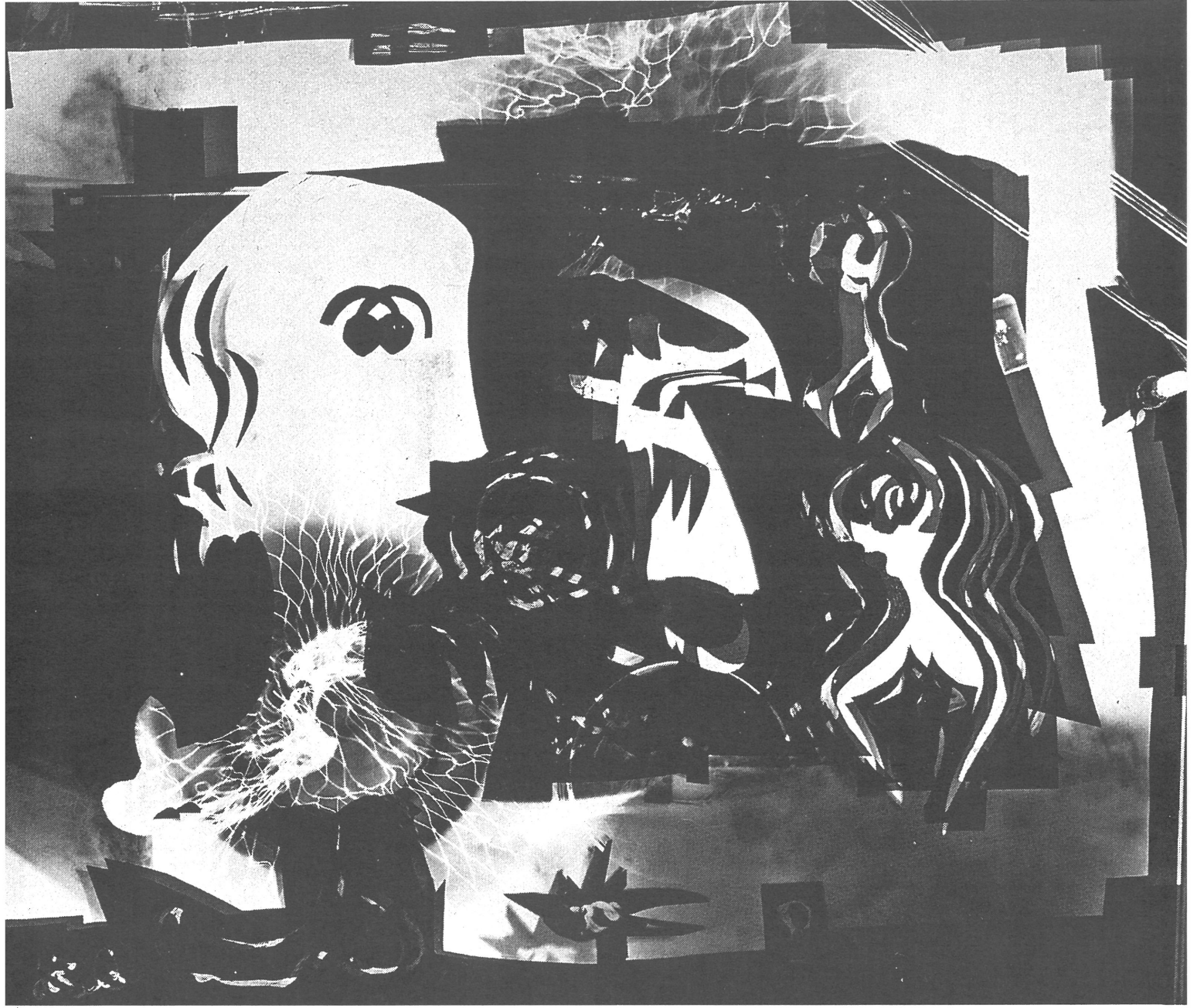


100th Birth
Anniversary QEi

瑛九展

生誕
100年記念



「Visitors to a Ballet Performance」1950年 宮崎県立美術館蔵

うらわ美術館と埼玉県立近代美術館の2館同時開催！！

小・中学生無料（9月19日(月祝)～25日(日)「敬老の日」週間として、65才以上の方無料）

平成23年9月10日(土)～11月6日(日)

- 主催: うらわ美術館、埼玉県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 協賛: ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 協力: 日本通運、JR東日本大宮支社、FM NACK5、REDS WAVE 78.3FM
- 出品協力: 東京国立近代美術館
- 開館時間: 午前10時～午後5時（入場は閉館の30分前まで）
- 休館日: 月曜日(9月19日、10月10日の月曜日は開館)

生誕100年記念 瑛九展

みなさんは、瑛九(えいきゅう)という人を知っていますか？ 瑛九は、生まれは宮崎県ですが、1951年から没するまで浦和市(現・さいたま市)で過ごしました。浦和の瑛九のアトリエには、画家や写真家、デザイナー、詩人など様々なジャンルの人たちが日夜集まっていたそうです。点描による抽象画で知られる瑛九ですが、実に様々な表現に挑戦した人なのです。そんな瑛九の「人」と「芸術」を照らし出す今回の展覧会は、うらわ美術館と埼玉県立近代美術館の2館同時開催となります。2つの美術館で出来上がる1つの展覧会。ぜひ2会場に足を運んで、瑛九について深く知ってみませんか？

＜うらわ美術館題目＞

- (1)文筆家・杉田秀夫から瑛九へ
- (3)絵筆に託して
- (4)日本回帰
- (7)啓蒙と普及

2つの美術館での
それぞれの題目です。
番号順に見ていくか？
気になる題目を見るか？
あなたならどうする？

＜埼玉県立近代美術館題目＞

- (2)エスペラントと共に
- (5)思想と組織
- (6)転位するイメージ
- (8)点へ……

見つめてごらん

瑛九は、良い美術作品を多くの方が手にすることができるように、同じ作品を何枚も刷ることができる版画をたくさんつくりました。下の2つの作品は、型紙を使った「フォト・デッサン」とよばれるものです。同じ型紙を使っていますが、少しちがいますね。同じところ、ちがうところをさがしてみましょ。いくつ見つかるかな？



「散歩」1951年頃 うらわ美術館蔵



「散歩」(『瑛九 フォト・デッサン作品集 真昼の夢』より) 1951年 うらわ美術館蔵

＜先生方へ＞

学校と美術館が連携した鑑賞や調べ学習をしませんか？「本の出張授業」や「埼玉アートカード」の貸出を行っています。その他、美術館での鑑賞教室などの取り組みもご相談

ください。

＜問合せ先＞

うらわ美術館 教育普及担当 田島 均 Tel 048-827-3215 Fax 048-834-4327 tajima@uamurawa.saitama.jp

この印刷物は6,000部作成し、1部当たりの印刷経費は159円(概算)です。

